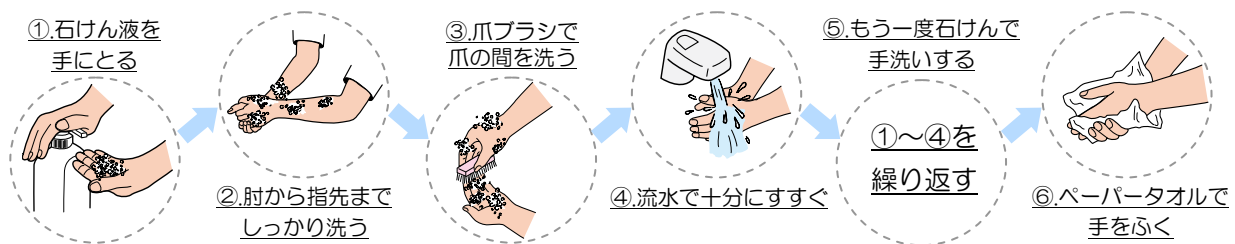


ノロウイルスの感染予防 ～スタッフ編～

■手指衛生の強化

スタッフの方々が病原体保有者となりウイルスを伝播する可能性がありますので、日々の手洗いはきちんと行いましょう。石けん自体にはノロウイルスを直接失活化させる効果はありませんが、手指の脂肪等の汚れを落とすことでウイルスが手から剥がれやすくなります。



■おう吐物・ふん便の処理について

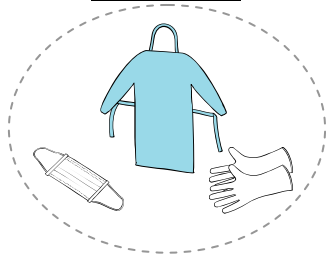
発見

ノロウイルス流行シーズンにおう吐物・ふん便を発見した場合、できる限り患者、入所者、児童・生徒等を遠ざけてください。室内であれば処理が終わるまでは誰も入らないようにしておくべきですが、不可能であればできる限り遠くに離してください。

処理

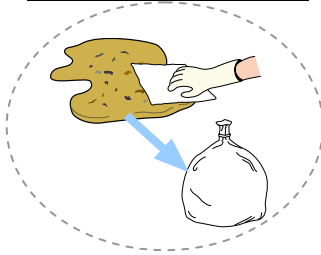
有症状者の介抱・隔離と、おう吐物・ふん便の処理は手分けして行うことをお勧めします。

①.処理の準備



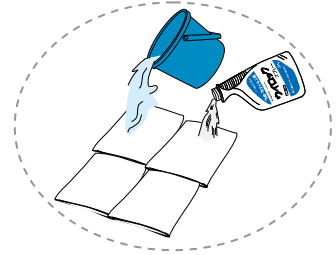
マスク・手袋等を着用する。

②.おう吐物・ふん便の回収



吐物等を静かに拭き取りビニール袋に回収する。

③.ノロウイルスの消毒



吐物等を取り除いた床をタオル等で覆い、次亜塩素酸ナトリウム液をできるだけ広い範囲に注ぎ、静かに拭き取る。

処理後

吐物等で衣類等が汚れた場合、洗濯機でほかの衣類と一緒に洗うと、他の衣類にもウイルスが付着してしまいます。汚れた衣類はマスクと手袋をした上でバケツなどで水洗いし、更に次亜塩素酸ナトリウム液で消毒することをお勧めします。

<参考：厚生労働省、国立感染症研究所>